

塗り床材の下地調整

- ・レジアンダー塗布後当日、ノンプライマーで塗り床材が塗布できます。
- ・フォークリフト・台車等の通路に通常配合を使用する場合は、プライマーを上塗りして下さい。
- ・養生時間 表面全体が乾燥してからエポキシ系は約1時間後、ウレタン系は約2時間

・旧床材がある場合、表面処理として研磨が必要です。(要注意点)

下地の種類	施工の目的	調 合	塗布方法	塗布量目安(kg/m ²)	備 考
コンクリート モルタル	ピンホールの修復 ひび割れの修復	通常配合	コテ	平滑面 0.6~0.8/回 粗面は別途	ピンホールの修復は2回塗りが必要です。
	無溶剤プライマー として使用	混和液のみ	刷毛・ロー ラー	約0.1 粗面は別途	吸い込みが激しい場合は追い塗りが必要です。
エポキシ系塗 り床材	エポキシ系塗り床 材との仲介接着	下地調整含む 通常配合、 プライマーとして 混和液:粉 体=1:1	コテ・刷毛 ・ローラー	通常配合 0.6~0.8 1:1配合 0.12~0.15	旧塗膜がはく離している部分は通常配合でコテ仕上げ、そ の他は混和液:粉体=1:1配合でローラーにより施工し て下さい。
ウレタン系塗 り床材	ウレタン系塗り床 材との仲介接着	下地調整含む 通常配合、 プライマーとして 混和液:粉 体=1:1	コテ・刷毛 ・ローラー	通常配合 0.6~0.8 1:1配合 0.12~0.15	旧塗膜がはく離している部分は通常配合でコテ仕上げ、そ の他は混和液:粉体=1:1配合でローラーにより施工し て下さい。